

【山形県 戸沢村】

校務DX計画

戸沢村ではGIGAスクール構想の推進により、児童生徒一人一台端末の整備が完了し、ICTを活用した教育活動が着実に進展しており、今後は、この成果を基盤としつつ、教職員の働き方改革の実現と教育の質の向上を目指し、校務DXを積極的に推進してまいります。「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検結果等を踏まえ、戸沢村の校務DXにおける現状と課題を以下のように分析します。

1. クラウドサービスの活用

メールやグループウェアを活用した情報共有や連絡は、ある程度浸透していますが、職員会議資料や研修資料の印刷配布、クラウド提出可能な書類の印刷物提出といった慣行が残っているなど、業務内容によって積極的な活用が進んでいない部分も見られます。

2. FAXでのやり取り・押印の見直し

外部とのやり取りでは、依然としてFAXが一般的に使用されています。また、一部の書類では、押印・署名による確認の慣習が残っており、FAXや押印の慣行が校務の効率化やペーパーレス化を阻害していると考えられます。

以上の課題に対し、下記のとおり解決に向け取り組みます。

クラウドサービスの活用推進

現在取り組みが進みつつある職員会議資料、研修資料、提出書類のやり取りをクラウドサービス上で行う体制を強化し、クラウド環境を活用した校務DX を積極的に推進します。

・具体的な取り組み

クラウドサービスや各種ツールの利活用に関する研修を充実させ、教職員のICT 活用スキル向上を図ります。

Google Workspace を中心としたクラウドツールを積極的に活用し、業務の効率化とペーパーレス化を推進します。

FAX・押印の原則廃止に向けた取り組み

FAX でのやり取り・押印を原則廃止するため、現在押印を求めている書類等についての必要性等について検討を進めます。

・具体的な取り組み

文部科学省事務連絡「学校等のFAX でのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルール見直しについて」（令和6年8月9日）に基づき、FAX・押印の原則廃止を周知徹底します。

既存の校務系ネットワークやクラウドサービスの活用を促進し、ペーパーレス化と押印廃止を推進します。

本計画を着実に推進することにより、以下のような効果が期待されます。

教職員の働き方改革

校務の効率化・ペーパーレス化により、教職員の負担を軽減し、長時間労働の是正を図ることができます。教職員の時間的・心理的な余裕を生み出すことは、授業準備や生徒指導、児童生徒とのふれあいの時間確保につながり、ひいては、教職員の働きがいを高め、魅力ある学校づくりを促進します。

教育の質の向上

校務DXにより創出された時間で、教員の指導力向上や、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ります。教育データの活用促進により、児童生徒一人ひとりの状況を把握し、きめ細やかな指導や支援につなげます。